



夏見台幼稚園・保育園 ニュースレター 2024.2.25 号

園主の鳥居徹也です。夏見台幼稚園・保育園でのこだわりをニュースレターにまとめます。どうぞご覧ください。※配信停止の方はお手数ですがメールまたはお電話でどうぞ(info@trepont.jp まで)

〒273-0866 船橋市夏見台 2-16-1 夏見台幼保園
電話:047-429-7231

話しは積み木から始まりますが…



1月の作品展では、園にあるすべての積み木をホールステージ上に集め、思い思いの作品作りをしました。積み木はドイツ製のフレーベル積み木とフランス製のカプラが中心です。

その「フレーベル」といえば、1837年ドイツにて世界初の幼稚園を創設。明治政府がその思想を導入し、1876年に東京女子師範学校附属幼稚園（現在のお茶の水女子大学附属幼稚園）が誕生します。

そもそも「積み木」とは、フレーベルが考案した「恩物（おんぶつ）」と称する知育玩具から来ています（10種類ある）。



牧師の息子として育ったフレーベル。その教育思想の根底に、基督教の影響があることは言うまでもありません。しかもドイツには中世より「ゲルマン神秘主義」ともいえるスピリチュアリズムの伝統があり、フレーベルにもその影響が見られます。

恩物で遊ぶことで神との合一を体験する

幼児教育の原点はスピリチュアリズムにあったのですね。

今日はそのスピリチュアリズムつながりで…

日本にも「予祝(よしゆく)」という考え方があります。それは私たちの新年のあいさつに現れています。

「あけましておめでとう」

では何がおめでたいのか？穀物神である歳神（としがみ）様に対し、秋の豊作を「予め（あらかじめ）」祝って感謝する思想です（諸説あります）。

すでに未来の成功が叶っているのだから、時間を逆算して祝ってしまおうと。英語圏では真逆のことをしますね。

「Happy New Year！」

これは、I wish you a happy new year. の略であり「私はあなたの将来の幸せを願っています」という願望です。その裏には、

（今現在は幸せではないけれど…）

そんな解釈も成り立つのです。

日本には「言霊（ことだま）」と呼ばれる考えもあります。強い考えを言葉にすると現実化すると。だから神社参拝で「お金持ちになりますように」「幸せになりますように」と願い事をするのは、その裏側にある、

（私は今豊かではありません）

（私は今幸せではありません）

そんな宣言を神にしている、となります。そしてその言霊は現実化する。つまり豊かではない状態を体験する、不幸せな状態を体験することになるのだと。

だから願い事をするならあくまで「予祝」の形で、すでに成就したこととして、神に感謝する方がジャパニーズ・スピリチュアリズム的だといえます。

なぜこのような話をしているかというと、私たちは往々にして「予祝」とは反対のことをします。「不安」です。

「失敗したらどうしよう」

「結果が悪かったら怒られる、どうしよう」

これでは「予祝（よじゅ）」になってしまいます。あらかじめ未来の不幸を呪ってどうなるでしょう（「予祝」は私の造語です）。

不安は現代の病です。特にコロナ禍以降、子どものうつが増えていと報道されています。不登校の子どもも当たり前の状況です。スマホの普及、SNSの頻用が情報過多を招き、心の落ち着かない世の中になっています。

私は58歳になりますが、40代半ばまで不安と格闘していました。今ではずいぶん心をコントロールできるようになりましたが、不安を克服するための情報はつねにリサーチしています。

予め悪い考えを持たないようにするためには、「今」に集中することです。「（悪い）思考」を「今現在の行動」に転換することです。デカルトは「困難は分割せよ」といいました。問題を切り分けて小さくし、行動して解決していくのです。

以前このニュースレターでも取り上げましたが、大リーグで活躍中の藤浪晋太郎投手には勇気をもらいました。

コントロールに苦しむ藤浪投手に、アメリカのメンタルコーチが言った言葉です。

君が今フォーカスすべきポイントは
指先からボールを離すまで、なんだ。
指先からボールが離れた後は、
君にはコントロールしようがない。
『打たれる』『打たれない』の結果
なんて君にコントロール
できることじゃないだろ？

メンタルコーチ



「結果」にとらわれず「今、ここ」の「プロセス」に集中できると、いつもどおりの自分の実力が現れてきます。昨年の藤浪投手の姿はまさにそれででした。

幼児教育の根本目標は子どもの主体性を育むこと。ではその主体性をもって生きるとはどういうことか。私は図のように考えます。結果を求めない、見返りを求めない、期待をしない。他人からの評価に左右される「他律」的な生き方ではなく、自らの「今、ここ」の行動にフォーカスした「自律」的な生き方です。

主体性を持って生きること

結果を考えない
見返りを求めない
期待をしない

他律

自律

うことか。私は図のように考えます。結果を求めない、見返りを求めない、期待をしない。他人からの評価に左右される「他律」的な生き方ではなく、自らの「今、ここ」の行動にフォーカスした「自律」的な生き方です。

大変難しいことではありますが、同じく大リーグで活躍中の大谷翔平選手を見ながら、私はいつもこのことを考えています。（終）

困難は分割せよ！



ルネ・デカルト